

新入荷商品のご紹介



節感のある小千谷の生地に花唐草文様をあしらった松寿苑の型染小紋。優しい地色で上品にもまた帯次第で遊び心あるコーディネートを楽しむことができます。

松寿苑 型染め小紋

291600円



和想庵 帯揚げ

10800円

遊び心のある花がモチーフの和想庵の帯揚げ。印象的な色を使っていつもと違ったコーデイネイトを演出。光沢感のある地風でおしゃれ用だけでなく、準フォーマルにも使える帯揚げです。



印伝屋 フォルキー 財布

32940円

印伝屋の毎年の新作の中でも圧倒的な人気のフォルキーシリーズの長財布は、大容量で使い勝手とデザイン性を兼ね備えたおしゃれな女性の定番のアイテムです。



岩佐(台) × 和想庵(鼻緒)

29320円

クッション性のある台に底がゴムで足への負担を最大限に軽減した岩佐の新作の台に和想庵の華やかな鼻緒をつけてみました。もちろんかわちやでは足に合わせてお挿げいたします。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2016年10月号

ごあいさつ



10月に入りますと吉良町では各地域ごとにお祭りがはじまります。かわちやの地元でもお祭りがあり楽しい反面、毎晩遅くまで、練習しているため寝不足気味の今日この頃です。少しずつ秋の気配を感じ、夜は寒い日もあります。しっかりと布団をきて風邪をひかないように心がけましょう。

特集 沖縄の織物 (久米島紬)



全国にはまだまだたくさん織物の産地があります。その中でも沖縄は独特の文化とともに、たくさんの織物が残っています。その一つが『久米島紬(くめじまつむぎ)』
2004年には国の重要無形文化財に指定されております。

久米島紬の特徴は

1. 糸は、紬糸又は引き糸を使用すること
2. 天然染料を使用すること
3. 緋糸は手くりであること
4. 手織りであること

さて、その起こりは14世紀の末頃、『琉球国由来記』という本の中で、久米島の「堂の比屋(どうのひや)」という人が、中国から漂流してきた人と親しく交流するようになり、その後中国に渡り、養蚕の技術を学んで帰ってきたと書かれています。しかし、なかなか技術が進展しなかった為、1619年、越前より坂元普基が国王の命を受けて来島し、蚕の飼い方や桑の木の栽培の仕方、綿子(真綿)の製法を伝え、その後、薩摩より友寄景友が来島し、紬の織り方と糸の染め方を伝え、技術的に従来にない飛躍的な進歩を遂げたと考えられます。

久米島紬は手織りならではの柔らかな肌触りで着心地がよく、よく体になじみます。紬のお好きな方はぜひともお試しください。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539